

公益財団法人石巻地域高等教育事業団

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 8 年 6 月 5 日	市所管部署	石巻市 企画部地域振興課
-------	----------------	-------	--------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人石巻地域高等教育事業団	設立目的・経過 石巻地域の旧1市9町により、石巻専修大学の誘致事業の推進母体として設立され、大学開設後は地域社会における教育文化の振興発展を目的とし、各種事業に取り組んでいる。
法人所在地	石巻市 穀町1 4 番 1 号	
設立年月日	昭和 61 年 3 月 22 日	
代表者職・氏名	理事長 齋藤 正美	

3 定款上の事業内容

(1) 地域における教育文化の振興に関する事業
(2) 大学等の協力による市民講座等の開催に関する事業
(3) 高等教育機関の振興育成に関する事業
(4) 奨学金の貸与に関する事業
(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外 の出資・出捐者	市以外 の者の 出資・出捐額	市以外 の者の 出資・出捐割合
50,000 千円	45,366 千円	90.7 %	東松島市	3,225 千円	6.5 %
			女川町	1,409 千円	2.8 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	3	3	3
うち市退職者	0	0	0
計	11	11	11
うち市職員	3	3	3
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	7	7	7
うち市職員	7	7	7
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	7	7	7
うち市職員	7	7	7
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

地域社会における教育文化の振興発展を図るために必要な事業を行うとともに、学習機会の拡充と均衡を保つために学園都市の整備事業を促進し、もって、地域社会における教育文化の向上に寄与する。

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
石巻専修大学開放講座 受講者数	人	目標計画	90	90	30	30	30
		実績	71	55			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「地域における教育文化の振興に関する事業」及び「大学等の協力による市民講座等の開催に関する事業」として、大学の持つ人的、物的教育資源を地域社会に開放するとともに、圏域住民に対し、自己充実や生きがい追及などに資する学習機会を提供するために、宮城県教育委員会及び石巻専修大学との共催により「石巻専修大学開放講座」を実施している。 受講者数については、会場変更に伴い受講定員が引き下げられたため、令和8年度からの目標値を受講定員の30名とした。				
目標未達の場合の要因分析			市報及び市ホームページ等による周知を実施したものの、住民への周知が十分に浸透しなかったことに加え、参加者層の固定化や新規受講者の確保が進まなかったことなどにより、受講者数が目標を下回ったものと考えられる。				

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
地域研究助成事業	件	目標計画	1	1	1	1	1
		実績	2	3			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「高等教育機関の振興育成に関する事業」として、地域の経済・社会・文化に関する学術研究及び地域の産業・文化の振興に寄与する研究に対して、100万円を限度額として石巻専修大学へ助成金を交付しており、毎年1件程度の研究への助成を目標としている。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
奨学金貸与事業	人	目標計画	5	5	5	5	5
		実績	1	1			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「奨学金の貸与に関する事業」として、能力があるにもかかわらず経済的理由により就学が困難な者に対して奨学金を貸与し、有能な人材を育てることを目的に「奨学金貸与事業」を実施している。 募集定員については、震災以前は5人程度としていたが、震災後は被災状況等を考慮し、緊急措置として10人程度に拡大していた。令和5年度以降は、復興財源を活用した各種ハード事業の完了や、近年の申請者数の減少傾向を踏まえ、震災以前と同程度の5人程度としている。				
目標未達の場合の要因分析			他の奨学金制度の充実による利用者の減少や、物価上昇等による教育費負担の増加、経済的不安等を背景として、高等教育機関への進学を断念する生徒がいることが要因として考えられる。 また、年度末に奨学生の申請・審査を行う制度運用となっていることから、推薦入学者以外の新入生にとって利用しにくい面があると考えられる。				

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
石巻専修大学と圏域首長・議長懇談会	回	目標計画	1	1	1	1	1
		実績	1	1			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」として、2市1町の首長・議長に、石巻専修大学の有する学術研究機能に対する理解を深めていただくための懇談会を年1回程度開催することとしている。				
目標未達の場合の要因分析							

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
石巻専修大学と圏域高等学校との懇談会	回	目標計画	1	1	1	1	1
		実績	1	0			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」として、高等学校と石巻専修大学との相互理解及び親睦を深めることを目的に、圏域高等学校と石巻専修大学との意見交換等を行うための懇談会を年1回程度開催することとしている。				
目標未達の場合の要因分析			石巻専修大学と圏域高等学校との懇談会の開催に向け調整を行ったものの、関係機関の日程調整が整わなかったことから開催を見送り、次年度へ延期したため、目標未達となった。				

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
石巻専修大学学生 顕彰事業	人	目標 計画	1	1	1	1	1
		実績	2	1			
目標・指標の説明			本事業団定款第4条記載の「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」として、ボランティア活動等の地域活動において、特に顕著な活動を実施した学生又は学生団体を表彰する「石巻専修大学学生顕彰事業」を実施しており、毎年度1名（1団体）程度の表彰を目標としている。				
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
地域研究助成事業	「地域課題解決に向けた人材育成のための協働フィールド・プログラムの実施」のほか2件の研究に対し、合計100万円を助成した。本助成により、高等教育機関の育成振興及び石巻地域の学術振興が図られた。	概ね目標計画値を上回る実績となっており、次年度以降も引き続き大学と連携しながら事業を実施していきたい。 また、学術・文化の振興を図るため、研究報告会に多くの地域住民が参加するよう、周知を図っていきたい。	
事業の公共性、公益性	石巻専修大学教職員が行う石巻地域に係る経済・社会・文化に関する学術研究及び産業・文化の振興に寄与する研究に対し助成を行い、石巻地域における文化・学術の振興を図る。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
奨学金貸与事業	定員5人に対し、貸与者は1人であった。	引き続き、真に支援を必要とする学生に貸与できるよう、制度周知に努めるとともに、学生の利便性にも留意した運用を図っていきたい。 また、返済が滞っている者については、今後も適切な債権管理に努めていく。	未返還債権の回収に向けて個別協議を行い、状況に応じた償還計画の合意形成を図るなど、適切な債権管理に努めた。 なお、法的整理等により回収不能が確定した一部債権については、関係法令等に基づき適正な処理（債権放棄）を進めた。
事業の公共性、公益性	石巻圏域在住の経済的事由により就学困難な学生に対し、奨学金を貸与することにより、学習機会の拡大と人材育成を図る。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人石巻地域高等教育事業団
------	-------------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動資産	1,028,584	855,687	▲ 172,897	823,873	▲ 31,814
	うち 現金・預金	1,028,584	855,687	▲ 172,897	823,873	▲ 31,814
	固定資産	132,049,000	130,949,000	▲ 1,100,000	129,289,000	▲ 1,660,000
	(1) 基本財産	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0
	(2) 特定資産	97,669,000	100,629,000	2,960,000	101,819,000	1,190,000
	(3) その他の固定資産	33,380,000	29,320,000	▲ 4,060,000	26,470,000	▲ 2,850,000
	資産の合計	133,077,584	131,804,687	▲ 1,272,897	130,112,873	▲ 1,691,814
	貸方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動負債	16,300	14,670	▲ 1,630	17,600	2,930
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0	0
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	16,300	14,670	▲ 1,630	17,600	2,930
	正味財産	133,061,284	131,790,017	▲ 1,271,267	130,095,273	▲ 1,694,744
	指定正味財産	0	0	0	0	0
	うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	一般正味財産	133,061,284	131,790,017	▲ 1,271,267	130,095,273	▲ 1,694,744
	うち 基本財産への充当額	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0
	うち 特定資産への充当額	97,669,000	100,629,000	2,960,000	101,819,000	1,190,000
	負債・正味財産の合計	133,077,584	131,804,687	▲ 1,272,897	130,112,873	▲ 1,691,814

正味財産増減計算書	科目	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	▲ 1,355,374	▲ 1,271,267	84,107	▲ 1,694,744	▲ 423,477
	経常増減の部	▲ 1,355,374	▲ 1,271,267	84,107	▲ 1,694,744	▲ 423,477
	経常収益	2,055	5,770	3,715	246,329	240,559
	経常費用	1,357,429	1,277,037	▲ 80,392	1,941,073	664,036
	評価損益等計	0	0	0	0	0
	経常外増減の部	0	0	0	0	0
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	0	0	0	0	0
	一般正味財産期首残高	134,416,658	133,061,284	▲ 1,355,374	131,790,017	▲ 1,271,267
	一般正味財産期末残高	133,061,284	131,790,017	▲ 1,271,267	130,095,273	▲ 1,694,744
	指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
	指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
	正味財産期末残高	133,061,284	131,790,017	▲ 1,271,267	130,095,273	▲ 1,694,744

（※）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュ・フロー計算書（C/S）	区分	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	事業活動によるキャッシュ・フロー	454,626	2,788,733	2,334,107	1,155,256	▲ 1,633,477
	基本財産運用収入	19	20	1	2,500	2,480
	奨学金貸付金元金収入	3,110,000	5,260,000	2,150,000	3,300,000	▲ 1,960,000
	雑収入	2,036	5,750	3,714	243,829	238,079
	事業費支出	▲ 2,483,974	▲ 2,343,080	140,894	▲ 2,212,375	130,705
	管理費支出	▲ 173,455	▲ 133,957	39,498	▲ 178,698	▲ 44,741
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 610,000	▲ 2,960,000	▲ 2,350,000	▲ 1,190,000	1,770,000
	特定預金取崩収入	2,500,000	2,300,000	▲ 200,000	2,100,000	▲ 200,000
	特定預金取得支出	▲ 3,110,000	▲ 5,260,000	▲ 2,150,000	▲ 3,290,000	1,970,000
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュフロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額						
現金及び現金同等物の増減額						
現金及び現金同等物期首残高						
現金及び現金同等物期末残高						

（※1）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分		令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
委託料及び指定管理料				0		0
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
短期借入金				0		0
長期借入金				0		0
出資・出捐（期末時）		45,365,600	45,365,600	0	45,365,600	0
債務保証額（期末残高）				0		0
損失補償額（期末残高）				0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）	法人市民税	50,000	50,000	0	50,000	0
	法人県民税	22,000	22,000	0	22,000	0
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人石巻地域高等教育事業団

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

負債・正味財産合計は、前期比1,691,814円減少の130,112,873円となりました。	
主な減少要因は、地域課題の解決に資する研究活動への助成金交付及び奨学金貸付金の償還が進んだことによる、その他固定資産の減少によるものです。	

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
固定資産	特定資産	1,190,000円増	奨学金貸付金の償還額が、奨学生1名への貸付額を上回ったこと及び地域研究助成基金への積立による増加。
固定資産	その他固定資産	2,850,000円減	奨学金貸付金の償還が進んだこと及び免責決定に伴う債権放棄による貸付残高の減少。

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

経常収益は、金利の上昇に伴う受取利息の増加により、前期比240,559円増となりました。	
経常費用は、奨学金貸付事業における未収債権の整理に伴う貸倒引当金繰入額等の計上により、前期比664,036円増となりました。	
正味財産期末残高は、経常費用の増加等により、前期比1,694,744円減となりました。	

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
経常増減の部	貸倒損失	650,000円増	未収債権の整理に伴う貸倒引当金繰入額の新規計上による増加。

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和7年度の奨学金貸与者は1名で、令和6年度と同数だったため、定期預金の取崩額は新規奨学金貸与額の差額相当となりました。

令和6年度は、一括償還者1名及び繰上償還者4名による多額の償還がありましたが、令和7年度は奨学金貸付元金収入が減少したことにより、事業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなり、投資活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目	変動内容	変動要因
事業活動によるキャッシュフロー	奨学金貸付元金収入 1,960,000円減	前年度における一括償還及び繰上償還による多額の収入の反動による減少。
投資活動によるキャッシュフロー	特定預金取得支出 1,970,000円増	前年度の多額の償還に伴い、今年度の奨学金貸付金の償還金に係る積立額が前年度を上回ったことによる増加。

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由
法人市民税	50,000	石巻市市税条例第51条第1項第4号に該当するため
法人県民税	22,000	県税減免条例第2条に該当するため

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法 人 名：公益財団法人石巻地域高等教育事業団

担当部署名：企画部地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

地域における高等教育の振興及び学術文化の向上を目的として各種事業を実施しており、本市の教育・学術振興に重要な役割を担っている。
引き続き、地域ニーズを踏まえながら、公益目的事業の充実及び効果的な事業運営に努められたい。

（2）主要事業の成果、課題

石巻専修大学開放講座については、市民への学習機会の提供に寄与していることから、引き続き、効果的な周知に努められたい。
地域研究助成事業については、地域課題の解決に資する研究活動への支援として、今後も継続的な実施を期待する。
奨学金貸与事業については、貸与実績が乏しいことから、引き続き効果的な制度周知方法を検討するほか、利便性向上に資する運用面の見直しについて検討されたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

正味財産比率（自己資本比率）（130,095,273円（正味財産）／17,600円（負債）＋130,095,273円（正味財産））は99.99%であることから、財務基盤の安定性・健全性が高いと判断できる。
流動比率（823,873円（流動資産）／17,600円（流動負債））は100%以上であることから、短期的な支払能力に問題はない。
固定比率（129,289,000円（固定資産）／130,095,273円（正味財産））は99.3%となっていることから、安全性に問題ない水準となっている。
なお、正味財産は前年度と比較して1,694,744円減少しているが、公益目的事業の実施によるものであり、法人運営に直ちに影響を及ぼすものではないと考えられる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

当該法人は収益事業を行っていないことから、売上高はなく、令和7年度における経常収益は受取利息等の246,329円である。一方、未収債権の整理に伴う貸倒引当金繰入額等の計上により経常費用が増加し、当期経常増減額は1,694,744円の減少となっている。

総資産経常利益率は-1.3%となっているが、公益目的事業の実施等によるものであり、直ちに経営上の問題があるものではないと判断できる。

(3) キャッシュフロー計算書

事業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなっているが、前年度に多額の償還があった反動によるものであり、法人運営に必要な資金は適切に確保されている。

また、投資活動によるキャッシュ・フローはプラスとなっており、資金繰りに大きな問題は見られない。

引き続き、計画的な資金管理及び適切な財務運営に努められたい。

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

設立目的に沿って適切に事業を実施しており、本市の教育・学術振興に一定の役割を果たしているものと評価できる。

今後も、公益目的事業の充実及び安定した法人運営に努められたい。